

事務事業名	市民活動フェスタ開催事業		所属部局	市民部		単位番号	4047				
			所属課室	市民活動センター		課長名	伊東 仁				
			所属担当	市民活動センター		担当者名	伊東 仁				
基本政策	基本計画体系	01	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
		02	地域ネットワークの充実		01	一般	02	01	08	03	00
政策		04	市民の自主的活動の促進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金						
施策											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 19 年度)			法令根拠	市民活動センター条例、施行規則						
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)							
	NPO、ボランティア団体、市民団体の相互の交流及び一般への周知を目的とし			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
	開催する。実行委員会を組織し、参加団体の自主的な運営により行う。			消耗品費 50							
	内容は、展示、発表、販売の3部門に別れ、それぞれ責任者を決めて各部門毎			その他保険料 6							
	に内容を決定し、全体の統括を実行委員会が行う。			使用料 13							
			計 69								

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	市民活動フェスタを3月6日(日) 櫛形総合体育館で開催する。 (67団体 参加)
	23年度活動予定	市民活動フェスタを櫛形総合体育館で開催予定。
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民活動センター登録団体、行政組織、市民	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	参加団体の交流、情報の場として、市民活動への理解が深める。	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	市民の自主的な活動や社会貢献活動が促進され、市民と行政による協働のまちづくりを進める。	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	参加団体	団体
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	登録団体	団体
	参加市民	人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	参加団体	団体
	参加市民	人
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	活動センター登録団体	団体
	団体参加者	人

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	66	69	70	120	70	70	
	事業費計 (A)		千円	66	69	70	120	70	70	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40	40	40	
		人件費計 (B)	千円	178	178	158	158	158	158	0	
		(A)+(B)		千円	244	247	228	278	228	228	0
活動指標		アイ	団体		70.0	70.0	70.0	70.0	70.0		
		ウ									
対象指標		アイ	団体		224.0	229.0	232.0	232.0	232.0	232.0	
		ウ	人		72,869.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	
成果指標		アイ	団体		500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	
		ウ	人		72,869.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	
上位成果指標		アイ	団体		224.0	229.0	232.0	232.0	232.0	232.0	
		イ	人		600.0	600.0	600.0	600.0	600.0	600.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成19年度に市民活動センター登録団体相互の交流と市民への啓蒙普及を目的として、第1回市民活動フェスタが開催された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	登録団体の市民ボランティア活動の意識が市民の間に広まってきている。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	新しい企画を取り入れ、参加を呼びかける必要がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	多くの登録団体が気軽に参加できるよう、前年の反省を参考にしている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	展示、販売、発表の3部門に分かれ、それぞれ責任者と係りを決め自主的に進めてもらう。

事務事業名	市民活動フェスタ開催事業	所属部	市民部	所属課	市民活動センター
-------	--------------	-----	-----	-----	----------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 協働のまちづくりを進めるためには、NPO、ボランティア団体、市民団体の連携は重要であり、上位目的との整合性がある。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 事業は市予算7万円と必要最小限 (使用料、保険、事務用品) の支出であり、殆ど参加団体の自主参加で行われている。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 協働のまちづくりを行ううえで、NPO、市民活動団体の交流と啓蒙普及を目的としているので、妥当で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 参加団体による実行委員会を組織し、販売、展示、発表の3部門で自主的運営を行っているので余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] フェスタに参加することにより、団体相互の連携、親睦が図られる良機会である。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 参加団体の自主的運営のイベントは市内にも少なく先進的であり、これからも進めていく必要がある。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] ほとんど、自主的運営であり、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] センター職員の関わりは少なく、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 市民活動センター登録団体、行政機関の参加により運営されるので、公平、適正である。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	協働のまちづくりを目指す中で、NPO、ボランティア団体、市民団体の自主的参加、運営で、市内にも数少ない事業であり、団体の活動を支援する意味からも事業を進める必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①実行委員会の自主的運営のため、また、市負担も必要最小限であり、現状維持																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	②																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑪																					